



日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○ 平成28年7月に開催する 日立一高ラグビー部「創部70周年記念事業」に向けて 実行委員会が始動しました。

昨年7月の学年幹事会において、創部70周年記念事業を実施することが決定され、同9月に開催した臨時役員会においては、平成28年6月を目途に開催準備を進めることとなりました。

その後、更に検討を進めた結果、6月には新設された全国高等学校7人制ラグビー大会の県予選が予定されることなどから、開催時期を7月に変更することとし、今年度の学年幹事会で承認を受けました。

学年幹事会では、併せてOB会の役員及び学年幹事を中心に実行委員会を設置し、本年9月6日（土）に第1回の実行委員会を開催し、下記のとおり方針及び事業内容について決定しました。

今後は、創部70周年記念事業の成功に向けて、各部会ごとに詳細な検討を進めてまいります。

- 1 記念式典等開催期日 平成28年7月17日（日）
※公式戦及び校内試験等と重複しない時期で、3連休の中日に設定
- 2 実施項目 記念式典・祝賀会開催、記念誌作成（OB名簿の整備を含む。）
記念招待試合、現役への記念品寄贈等
- 3 実行委員会の組織 委員長（尾又OB会長）
副委員長（村山副会長）— 記念式典部会（部会長：柴田幹事ほか5人）
副委員長（武藤副会長）— 記念誌部会（部会長：関裕之氏ほか5人）
副委員長（益子副会長）— 招待試合部会（部会長：金澤事務局長ほか5人）
事務局（木下幹事長）— 総務部会（部会長：山本監事ほか3人）
（※他のOBの皆様にも、事業を進める中では、随時ご協力をお願いいたします。）

4 今後の進め方

- (1) 記念式典・懇親会 会場及び内容等を早期に検討する。
- (2) 記念誌作成 過去10年間の歩みを中心に作成する。
- (3) OB名簿の整備 平成27年3月末を目途に進め、事業を広く周知し協力を呼びかける。
- (4) 記念招待試合 附属中・高校・OBの3区分で実施することとし、対戦相手は今後選考する。
- (5) 財源確保 OB負担金：1口10,000円（40歳未満は1口以上、40歳以上は2口以上）でご協力をお願いすることとし、納入時期・方法等は後日お知らせする。
記念ポロシャツの作成・販売（事前に販売を開始し、財源に充てる。）



【9月6日 第1回実行委員会開催】

○ 年会費を8年ぶりに値上げしました。(お一人3,000円以上/年)

当OB会は、発足当初から年会費制をとらず、過去の周年事業の残金や寄付金等を財源として運営してきました。

しかし、現役の支援体制やOB会の活動を強化するためには安定的な財源確保が不可欠であることから、平成18年度の創部60周年記念事業を契機として会費制を導入し、一人年間2,000円以上を納めていただくこととしました。

近年、新人戦の都県対抗(選抜チーム)や7人制全国大会などの大会新設による支援金の増に加え、部員数の減に伴う部員一人当たりの負担増へのOB会としての支援(ユニフォーム作成補助、トレーナー派遣費用補助等)、更には借上バス料金の一律値上げなどに対応するため、OB会の更なる支援体制強化が求められています。

【年会費導入後の納入状況の推移】

年度	納入者(人)	納入金額(円)	年度	納入者(人)	納入金額(円)
平成18	192	421,000	平成22	95	382,000
19	101	455,000	23	108	361,000
20	125	430,000	24	106	388,000
21	108	356,000	25	118	416,000
			平均	119	401,000

(※年度によりバラツキはありますが、年間の収入:約40万円の年会費+OB会報広告料約20万円=約60万円に対して、支出は70万円~100万円あり、不足分は繰越金を取り崩して対応してきました。)

会費納入者はOB総数660人中、約18%(所在のわかる538人中だと約22%)となっており、もちろん今後の納付率向上も課題ではありますが、しかし、年会費の納付はあくまでも任意のご協力であり強制力を持つものではありません。したがって、既にご協力をいただいている方への負担増にはつながりますが、現実的な対応としては、会費値上げに踏み切らざるを得ないため、学年幹事会にお諮りし承認をいただきました。

平成26年度分から、年額3,000円以上とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○ 平成26年度 学年幹事会 開催報告

前年度の事業報告や本年度の事業計画等を審議する学年幹事会を7月5日(土)に出席者26人(役員・学年幹事23人、賛助会員3人、ほか委任状提出48人)で開催しました。

議事については、平成25年度事業報告及び決算、平成26年度事業計画及び予算について原案どおり承認。

役員改選は全役員を留任とし、OB会規約の改正については、年会費を「3,000円以上」とすることについて原案どおり承認(詳細は、前述のとおり。)

創部70周年記念事業については、実行委員会の設置を承認(委員25人)。実施時期については平成28年7月とし、詳細は実行委員会に委ねることとしました。

1. 平成25年度活動報告

1-1 主な支出の状況(実支出額)

(単位:千円)

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	65	42	-23	21人参加
2) 役員会	10	0	-10	70周年記念事業、ゴルフコンペ
3) OB会報発行	144	146	+2	10月に第16号を発行
4) 各大会への資金援助	80	130	+50	新設:7人制大会、関東合同チーム大会
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	0	
6) 菅平への指導員派遣	50	27	-23	
7) ミニ合宿への資金援助	60	30	-30	秋(会瀬)のみ実施
8) ゴルフコンペ開催	20	8	-12	日帰りのみで実施
9) 蹴り初め開催	0	-26	-26	OB戦及び交流会(豚汁)
10) 交流・親睦行事	90	50	-40	
11) 慶弔費	20	41	+21	夏井家、金澤家葬儀

12) 事務費	50	73	+23	事務用品購入、郵送料等
13) 部員勧誘用DVD作成	0	150	+150	
14) 高校生活動支援	0	145	+145	ユニフォーム補助、ストレッチ・トレーニング補助
15) 附属中活動支援	0	116	+116	練習用ジャージ、メディカキット購入等
16) その他	61	52	-9	附属中顧問の歓送迎会補助等
計	700	1,034	+334	予算枠を超過

1-2 主な収入の状況（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）（単位：円）

	年会費		広告料		計
平成24年度 予算	380,000	110人	220,000	12件	600,000
〃 決算	388,000	106人	205,000	11件	(99%) 593,000
平成25年度 予算	400,000	120人	240,000	14件	640,000
〃 決算	416,000	118人	175,000	11人	(92%) 591,000

1-3 会計報告（収支総額）（単位：千円）

	予算（円）	実算（円）	増減（円）
前年度繰越	578,261	578,261	0
当年度収入	700,000	651,077	△48,923
当年度支出	700,000	1,057,731	△357,731
次年度繰越	578,261	171,607	△406,654

※年会費納入者は前年度より12人増加しましたが、納入額は微増。広告料が減少したため収入が目標金額の700千円に達せず、一方で部員勧誘や高校・附属中の活動支援のため支出が予算枠を大幅に超過したため、繰越金が前年残高より約400千円減少しました。

2. 平成26年度 事業計画及び予算

2-1 重点方針

- 1) 収入の拡大
- 2) 現役の活動支援
- 3) 父母会との関係強化
- 4) 部員拡大の支援
- 5) 創部70周年記念事業の推進

2-2 支出の部（単位：千円）

	H25 決算	H26 予算	内 容
1) 学年幹事会	42	42	
2) 役員会	0	10	創部70周年記念事業検討
3) OB会報発行	146	146	10月に第17号を発行予定
4) 各大会への資金援助	130	120	6大会×2万円
5) 菅平遠征への資金援助	50	50	
6) 菅平への指導員派遣	27	30	
7) ミニ合宿への資金援助	30	60	秋合宿、春合宿 各2泊3日
8) ゴルフコンペの開催	8	10	開催通知等
9) 蹴り初め等の交流・親睦行事	24	20	OB戦、バレーキョー、新年会等
10) 慶弔費	41	20	
11) 事務費	73	50	事務用品購入、郵送料等
12) 高校生活動支援	295	100	ストレッチ・トレーニング補助
13) 附属中活動支援	116	30	ジャージ作成補助
14) その他（予備費）	52	12	
計	1,034	700	前年比 -334千円

2-3 収入の部（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

(単位：円)

	年会費		広告料		計
平成25年度予算	400,000	120人	240,000	14件	640,000
〃 決算	416,000	118人	175,000	11人	591,000
平成26年度予算	450,000	130人	215,000	12件	(前年比113%) 665,000

○ 附属中ラグビー部の監督が交代しました。

本年4月、附属中ラグビー部の創設以来2年間お世話になった萩原知樹先生が、顧問の配置替えにより軟式野球部へ転属になり、後任として日立一高ラグビー部OB（昭和62年度、第40回卒）の根本伸一先生が着任しました。

萩原先生は、いつも笑顔絶やさず暖かいご指導で部員たちに親しまれ、2年間で附属中ラグビー部を対外試合に出場できるまでに育てていただきました。OB一同心から感謝申し上げるとともに、今後ますますのご活躍をお祈りしたいと思います。

また、根本先生は4月1日付け人事異動で滑川中から転任されました。日立一高在学中はキャプテンを務め、花園には惜しくもあと一步届きませんでしたが、毎大会茗溪学園と決勝戦を争った経歴の持ち主です。前任地ではバレー部の顧問として活躍されましたが、久しぶりのラグビー界復帰に闘志を燃やしています。

ここで、お二人から、それぞれごあいさつをいただきます。

「新任のごあいさつ」 根本 伸一 新監督

日立一高ラグビー部OBの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は、昭和60年度から62年度の3年間、日立一高ラグビー部の一員として活動し、OB会の皆様のご支援のおかげで思う存分ラグビーの素晴らしさを堪能させていただきました。今の自分があるのはラグビーとの出会い、日立一高ラグビー部、同OB会の存在があってのことと心から感謝しております。

さて、今年度の4月から日立第一高等学校附属中学校に赴任し、中学校ラグビー部の顧問を務めさせていただくことになりました。これは、お世話になった母校とOB会、そして日立一高ラグビー部への恩返しの機会を頂戴したと受け止めています。

私の役目は、名門日立一高ラグビー部の復興のために「金の卵」である中学生を育てることです。このことは、ラグビーを教えられる嬉しさよりもその責任の重さの方が勝っており、身が引き締まる思いではありますが、顧問就任当初からすでに何人ものOBの方々から温かいご支援を賜り、現役時代と同じように勇気を与えていただきながら指導にあたっております。皆様の心強い支援に感謝し、期待に応えられるよう微力ながら精一杯務める所存です。

中学校ラグビー部は現在、3年生4名、2年生10名（うち女子2名）、1年生4名の18名が在籍しています。5月には初めて公式戦に出場することができました。初勝利はまだ得られてませんが、現在は勝つことだけに目を向けず、ハンドリング等の基礎的な技能の習得とラグビーという競技がもつ「フォロー」の精神の指導に重点を置いて練習を行っています。

これからも楽しさの中に厳しさが混じった練習を通して、心身ともにたくましく、ラグビーを心から愛する部員たちをつくっていきたいと考えておりますので、これまで同様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【根本新監督と附属中ラグビー部員たち】

「退任のごあいさつ」 萩原 知樹 前監督

この度の部活動配置替えで、軟式野球部へ配属となりました。

附属中ラグビー部在任中は、OB会の皆様方や関係者の方々に大変お世話になりました。本当に感謝しております。

思えば2年前、附属中開設と同時に創部となったラグビー部ですが、初年度は3人のスタートでした。

練習ができる十分なスペースはもちろんのこと、自分たちのボールもなく、高校ラグビー部のボールをお借りして、自分を含めて4人で基礎練習をしていたことが懐かしく思い出されます。

そんなラグビー部をOB会の皆様が時には暖かく見守っていただき、時にはご指導をいただいたことにより、部員たちは自分たちのチームで試合ができることを目標に頑張ってきました。

初年度の秋には1人増え、2年目には女子2人を含めた10人を迎え、一気に練習が活気づきました。

初心者が多い中、それぞれがレベルアップを行い、12月にはタグラグビー大会に出場し、3位になりました。この間、尾又会長をはじめといたくさんのOB会の皆様にご指導をいただきました。本当にありがとうございます。

そして、昨年度最後の3月31日に清真中学校での最初の練習試合を行うことができました。初年度に夢見た附属中として試合に参加できたことは、私にとって心に残る一番の思い出です。

私はラグビー未経験者でしたが、ラグビーに出会い、そして部員、OB会というラグビーを愛する方々に出会い、ラグビーの素晴らしさを知ることができました。このことは私にとって最高の財産です。

3年目となり、ラグビー部もいよいよ発展の年となりました。根本新監督の下、部員たちは一生懸命に活動しています。部活動は別になってしまいましたが、これからもラグビー部の発展を心から願っております。

2年間、本当にありがとうございました。



○ 平成26年度 菅平遠征合宿

今年は、1年生11人、2年生6人、3年生2人の計19人での参加となりましたが、昨年は太田一高から2人補強してなおギリギリ15人でしたので、リザーブが4人とまずまず順調なスタートでした。

OB会からは、尾又会長、吉田前会長、近藤前幹事長、益子さん（元早稲田大主将・監督）、吉野さん（高校日本代表・日本代表cap9）、木下、金澤、丸橋（大学4年）、父母会からは志賀会長とその家族と小宮さん、賛助会からは中野さんが参加、「ロジ松の実」を拠点に、昼はラグビーの指導と応援をし、夜が更けるまで懇親を深めました。

2日(土)の午後と4日(月)・5日(火)の午前は、宿舎である「向井館」のグラウンドで練習、3日(日)の午前・午後と4日(月)・5日(火)の午後は、8チームと延11ラウンドの練習試合を実施。怪我人が続出する中、頑張って全日程をこなしてきました。（怪我人が多いのは、1・2年生主体の若いチームなのに、アタックもディフェンスも、ガツガツ体を当てていった証拠・・・いわゆる勲章です。）

【試合結果】

3日(日) 午前	武豊高校(愛知)	31-0	・伝統校を相手に、初戦ということもあり軽快な動きで前半から圧倒、FWはターンオーバーからチャンスを作り、BKは鋭いランでディフェンスを切り裂きました。3ラウンド目は1年生主体のチーム編成でしたが、3本のトライを奪い、圧勝しました。
		40-0	
		19-0	
午後	高崎商高(群馬)	12-7	・午前の試合で1年生WTBが怪我でリタイヤ、徐々にメンバー編成が厳しくなってきましたが、テンポの良い攻撃を継続し、トライ数2-1で勝利。

	千葉経済(千葉)	0-29	・FWにこだわりを持つチーム。どうも日立一高はガツガツ来る相手は日頃から苦手です。5本奪われたトライは、全てFW或いはFWがらみでした。今後の課題です。
4日(月)午後	大田高校(群馬)	0-33	・合宿3日目を迎え、怪我人が増えてメンバー編成が更に厳しくなり、それでも懸命のタックルで対抗しますが、攻撃の糸口が掴めません。ここが我慢のしどころか?
	早大本庄(埼玉)	7-19	・気持ちを切り替え、SO野中のトライで先制、SH小宮が気迫あふれるディフェンスでゲームを引き締めますが、一瞬の隙を突かれて3トライを喫しました。
5日(火)午後	北越高校(新潟)	7-19	・昨日とは違い、どちらかといえば展開志向のチーム。何回かあったターンオーバーのチャンスを活かせず、歯がゆい負け方。SO野中が左肩を痛めて退場し、ゲームの組立ができません。
	狛江高校(東京)	0-7	・ガツガツ来る相手にはガツガツとディフェンスで対抗、とにかく今は頑張るしかない状況です。全員でカバーし合い、試合終了。
6日(水)午前	都立武蔵(東京)	0-36	・満身創痍で迎えた最終戦、力及ばず完敗でした。秋に向けてラグビーのできる体づくり・肉体改造が課題となりましたが、タックルに行く「気持ち」があるから大丈夫!今後の健闘を祈ります。



【2014. 8月 菅平にて】

○ 今年度の現役部員の戦績

【平成25年度全国高校総体(兼)第93回全国高校ラグビー大会茨城県予選】 ※前号に未掲載のため参考

1回戦	日立一	75	-	0	水戸一
2回戦	日立一	117	-	0	合同B
準々決勝	日立一	0	-	75	つくば秀英

【平成26年度茨城県高校ラグビー新人大会】

※合同A(日立一・緑丘・太田一)で参加

1回戦	合同A	24	-	10	合同D
2回戦	合同A	0	-	63	勝田工



【平成25年度 全国予選 vs.つくば秀英】

【第62回関東高校ラグビー大会 茨城県大会】

1回戦 日立一(棄権) — 東洋大牛久

【平成26年度県民総体(兼)第68回国体ラグビー茨城県大会】

《第5グループ》

1回戦 日立一 66 — 0 合同B

決勝 日立一 48 — 7 合同A



【平成26年度 県総体 v.s.合同B】

【平成26年度第1回全国高等学校7人制ラグビー大会茨城県予選】

《予選Fリーグ》 日立一 19 — 10 東洋大牛久

日立一 54 — 0 下館工

《カップ(予選1位) トーナメント》

1回戦 日立一 5 — 14 清真学園

敗者戦1回戦 日立一 38 — 0 東風

決勝戦 日立一 12 — 12 勝田工



【第1回7人制大会 v.s.東洋大牛久】

○ 「蹴り初め」を開催しました

新春恒例の「蹴り初め」を、1月3日(金)に開催
3日後の1月6日(月)が新人戦の1回戦ということ
もあり、高校生×OBの試合は見送りましたが、中学生
を交えてのタグ・ラグビーや、グラウンド全面を使つての
高校生×OBのタッチフットボールを実施し、OB同士
の20分1ラウンドの試合で締めくくりました。

今年も好天に恵まれ、参加者がやや少なかった昨年と
は打って変わって、現役(中学・高校)、OB、保護者
、賛助会員など総勢130人超の方々が集まりグラウンド
は大賑わい、試合終了後は恒例の「うどん入り豚汁」が振る舞われました。

毎年のことながら、早朝からの豚汁作りに、OB(第5回卒)大内二郎先輩や多数の保護者の皆様には、お骨折りを
いただきありがとうございました。



○ 第10回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

恒例となりました、日立一高ラグビー部OB会の第10回ゴルフコンペを下記の通り開催しますので、奮ってご参
加ください。

1. 日 時 10月25日(土) 午前9時集合
2. 場 所 勿来TAIGAカントリークラブ
3. 費 用 10,000円(昼食代、プレイ後のパーティ費・賞品代含む)

【ゴルフコンペ幹事:笠井 知洋、TEL:080-5057-3065】

○ OB通信

このコーナーは、OBの方々に昔の思い出や近況等のご紹介をいただいています。今回は、高野真二さん、深谷竜
二郎さんをお願いしました。お二人とも、お忙しい中をありがとうございました。

「くま父さんのラグビー日記」 高野 真二 (昭和63年度 第41回卒)



小学生の頃は肥満児。剣道の体当たりが得意だった。中学校でも剣道を続けようと思っていたが坂中には剣道部が無かった。中学校のマラソン大会では、最後は歩きながらゴール。走るのとはにかく苦手だった。

「タヤけニャンニャン」を見るのが日課だった高校受験を控えた11月。隣のチャンネルで高校ラグビー花園予選茨城県大会決勝が放送されていた。その前年にはスクールウォーズを涙しながら見ていた中学3年生の私。ラグビーのルールは良く分からなかったけれど、受験しようとしている地元一番の進学校の生徒がテレビの中で戦っている姿が衝撃的でした。

「カッコいい」「俺もテレビに映りたい」「女の子にモテるかも」ラグビーをやろうかな？と初めて強く意識した日でした。

入部後の夏の思い出は「坊主頭」。1年生の夏休み前。教育系の2年生から「1年は毎年全員坊主だから」との言葉を受け、同級生の1人が自宅からバリカンを持参。「坊主頭」が嫌で野球部では無くラグビー部を選んだ人間もいたにもかかわらず、校内断髪式を執行。翌日、全員が「坊主頭」で練習に参加した時に一番驚いていたのは滑川監督でした。あまりの出来事に「ダメサレタ…」と気付くのに時間も掛かったのが忘れられません。

現在、結婚し2人の息子に恵まれました。長男はあの頃の自分と同じ年頃、中学3年生。次男は小学6年生。週末には2人ともラグビーを楽しんでいます。2人ともラグビーが大好きです。

小中学生にもラグビーが出来る環境をと、私も2年前から水戸ラグビースクール中学部のコーチとして微力ながらお手伝いさせて頂いております。そこで感じるのは、県北地区・県南地区と比較して、圧倒的に県央地区の中学生ラグビーに対するサポート不足。自分の後輩になる附属中の皆の強化はもちろん大事で気になるところではありますが、茨城県ラグビー界のためには県央地区の盛り上がりは欠かせません。県央地区にお住まいのOBの方々、中学生ラグビー達に活動の場を提供し続けられるよう一緒にサポートしていきましょう。

最後に、小学生・中学生がラグビースクールで練習する様子をブログで紹介していますので良かったらご覧ください。http://www.ac.auone-net.jp/~ayu_kazu/ (「ラグビー」「父さん」で検索ください。子供達にはなかなか好評を得ております。)

どうぞ皆さん。周りのお子さんをラグビーの世界へ案内してください。それまで球技に縁が無かった子供だって、走るのが苦手な子供だって、ラグビーは大丈夫。みんな大歓迎です。

きっかけなんて、どこに何があるか分かりませんが、ラグビーのある人生は最高です。

「夢」 深谷 竜二郎 (平成22年度 第63回卒)

試合に出られればいい、東海大学でラグビーを始める時に抱いていた夢はほんのちっぽけなものだった。日立第一高等学校、その名を知るコーチからは古豪と称されたのを覚えている。嬉しい半面、今はという思いが胸を駆け巡った。

周りを見れば名だたる強豪校ばかり、そんな中でやっていく自信は持てるはずがなかった。練習においても、今までとはレベルの違う強度に先が見えなくなっていった。ただ、4年間やってやろうという思いは変わらなかった。

体が慣れてきた頃にチャンスが来た、内ゲバで活躍した私は、一年の時から北海道宿舎に「参加することができた。(上位50人程度)しかし、さらにレベルの高い練習は過酷を極めた。そんな中、試合のたびに出されるメンバー表に、日立第一と表記されることを密かに楽しんでた。

時を重ねて、仲間から様々な異名を頂いた。「きちがいタックラー、ゴキブリステップ」中には「日立の星」とよぶ声もあった。そのひとつひとつが自信と誇りになった。そして、3年の春に一本目として出場することができた。会場にアナウンスが流れる「深谷竜二郎、日立第一高校…」いつしか夢は変わっていた。

地元茨城で、両親の前で、先輩後輩のまえで... 一本目に出ている姿を見せよう。その想いで日々体を動かした、170センチ69キロ小さな体躯で必死に存在を叫び続けた。

2013年5月26日、夢は叶う。対筑波大学戦、この試合で死んでもいいとも思えた。トライを決めて客席を見



た、そこには今まで見たことのないような綺麗な景色が広がっていた。

結果は1トライ差で負けてしまったが、嬉しさと悔しさ、いろんな感情が混ざって、視界はぼやけた。日立一高の俺はここまでやってやった。という強い自信が自分を包んでいた。

長い道のりだった、生半可なことでもなかった、しかし、夢をあきらめなければ必ず叶うと知った。今もまた、日立製作所のラグビー部で夢を追いかけているが、ラグビーを通じて感じたことを後輩たちに伝えていこうと思う。日立第一高等学校という古豪がいつしか強豪へと変わっていく、そんな大きな時代の波の歯車の一部として力になろう。それが日立に育てられた私の恩返しであると、自らに使命づけた。

○ 父母の会だより

父母の会会長 志賀 和義さん(志賀大輝(3年)君・一輝(1年)君の父)

日頃より、OBの皆様にはラグビー部員への手厚いサポート、またご指導いただき誠にありがとうございます。父母の会を代表してお礼申し上げます。

さて、今年度は何と言いましても国体予選以降「単独チームで出場!!」できた事、この一言につきます。選手はもちろんのこと、父母の会としての盛り上がりも、単独チームと合同チームでは雲泥の差であります。

年度当初は部員が何人、入部してくれるのか、父母の会としても気を揉んでいたところでありました。ところが、11人が入部し、更には国体予選では1年生を含めた新体制で初勝利を飾ることもできました。これも監督そしてOBの方々の熱心な指導のお陰と感謝しております。

入部を決意した決め手が、あのプロモーションビデオ「PRIDE」だったという部員が多いのも事実です。OB会には是非ともセカンドバージョンの製作を検討させていただきたいところであります。もちろん、父母の会といたしましても新入生説明会等の機会に保護者への勧誘チラシ配布継続を検討するなど、出来る限りのバックアップをしていきたいと思います。これからは、OB会の皆様には引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

平成26年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。

第1戦(2回戦)	10月18日(土) 14:00	堀原運動公園競技場	vs 東洋大牛久と三和高の勝者
第2戦(準々決勝)	10月25日(土) 14:00	〃	vs つくば秀英高
第3戦(準決勝)	11月 2日(日) 12:20	〃	
第4戦(決勝)	11月 9日(日) 13:00	ケーズデンキスタジアム水戸	

第1戦を突破すれば、3年連続つくば秀英高との対戦です。昨年は0-75と敗れましたが、全力で戦い切りました。

皆さんの声援が、部員への大きな励みになります。どうか、多くの方々がグラウンドにおいでいただき、激励してくださいようお願いいたします。(組合せ等の詳細は、OB会ホームページをご覧ください。)

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(12頁参照) 広告料は年1回発行で1口1万円以上ですが、12人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計202,000円のご協力をいただきました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

日立一高ラグビー部OB会報 第17号

発行責任者: 幹事長 木下 俊雄(昭和54年度 第32回卒)

事務局長 金澤 勉(平成4年度 第45回卒)

問合せ先: 〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】0294-21-4890 (FAX同じ)

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

茨城クリーン有限会社

代表取締役 夏井 一郎

(昭和37年度 第15回卒)

〒310-0804 水戸市白梅3丁目10番5号

電話: 029-231-7741

株式会社岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

尾又運送株式会社

代表取締役 尾又 彰彦(平成2年度卒)

取締役会長 尾又 篤(昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石

常務取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話: 0294-33-0359

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話: 0294-22-0807

秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話: 0294-36-1987

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

株式会社トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表弁護士 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOビル2階

電話: 0296-48-8875

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 尾又 篤 ほか

(昭和36年度 第14回卒)

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 志賀 和義

(ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！